

# わかしゃち

第9号 2004・5

土佐中・高同窓会・東海支部会報  
編集人／35回生 内田順子

Email junkotosa@k8.dion.ne.jp

〒460-0024 名古屋市中区正木3丁目13-13 コスモホーム 気付

TEL 052-332-3370

FAX 052-332-3372

## S君とのデート

東海支部顧問

二十八回生

福永 康身

ここ七、八年帰省のたびに、Sとのデートを欠かしたことはない。むしろその楽しみのために、帰省の頻度が増え、滞在も延びたかもしれない。

入学当初は、周りが皆秀才に見えた中に、Sにはどことなく自分に似た《田舎者》を感じ、気安く声を掛け、親しくなった。学友第一号と言えようか。だが学園生活に馴れるにつれ、それぞれの交友の輪は拡がり、Sとの間も自然に希薄化して、卒業後は、交わりは全く絶えた。

定年退職して、久しぶりに帰省した折、偶然手にした新聞の投書欄に、Sと同名の筆者の「散歩しながらゴミを拾おう」との投書を見つけた。ためらいながら電話すると、まぎれもなくSの声。四十余年ぶりの再会だった。

《密会》の場は、台風でもない限り、五台山の展望台の食

堂。客は少なく、何時間粘っても嫌な顔をされることもない。総ガラスだから、ほぼ高知市の全域が一望できる。

わずかに昔の姿を留める浦戸湾や、ビル群の重みで沈みそうな市街地を眼下にして、僕らはいつも嘆息する。

そして、半世紀前の大地の激震と、夜明けの薄明かりに現れた惨状の記憶が甦る。

Sが定年まで働いた化学工場の、高い煙突から吐き出された煙が、潮江の青い水面の上を沖合へと流れている。

公害対策の現場責任者として、Sは、住民・行政・会社の関ぎ合いの中で苦闘した。何が彼を退職後に、草の根の環境保護活動に向かわせたのか。問うても、

「罪滅ぼしかなア」と照れ隠しで逃げる。

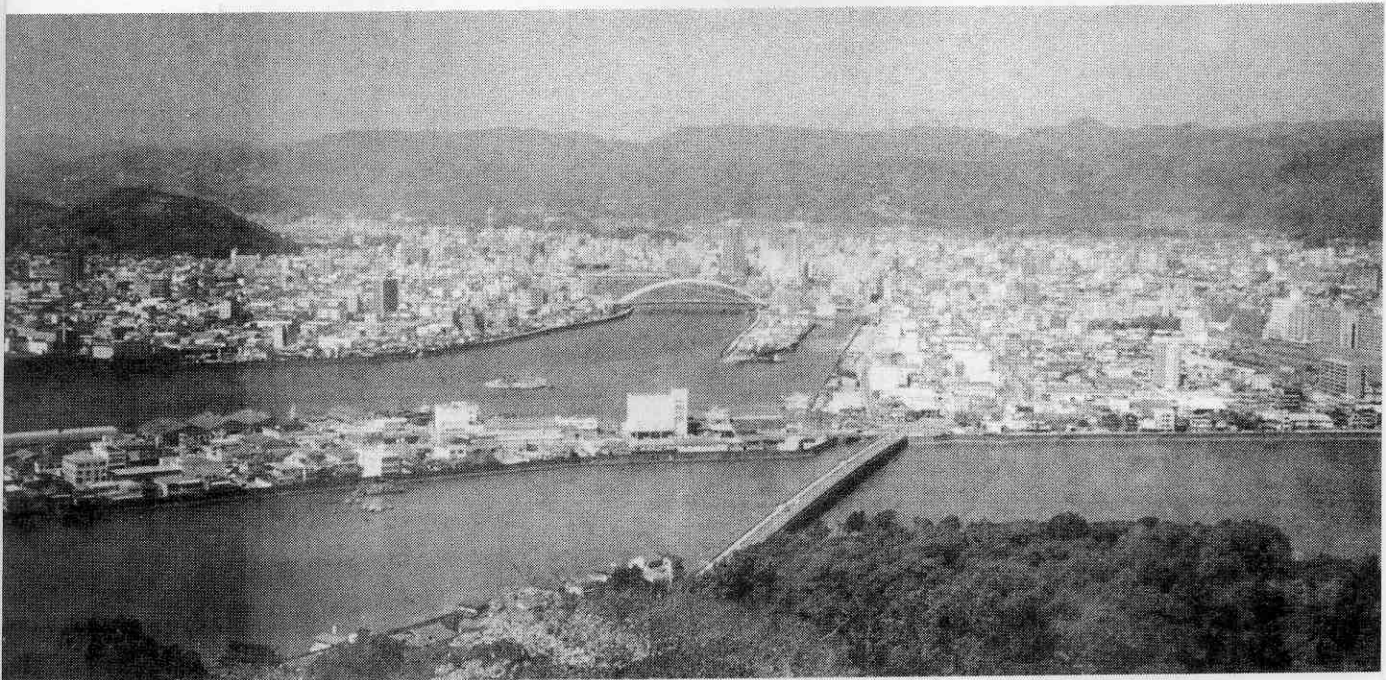
Sは新聞の投書欄で、エコライフを呼びかけた。原稿は毎度没、載っても反響は皆無だった。性懲りもなく訴え続け、今では、環境問題について、新聞社から所見を求められ、行政や市民団体のお座敷

もかかる。《はちきん》(女性活動家)たちの人気もなかなかのものらしい。鏡川畔のS家にはエアコンがない。庭のキウイの棚が日陰をつくり、真夏でも室温は二十五度を超えない。娘さんが婚家のクローラーに、いまだになじめないという。

Sのエコ理論は彼自身の実践に裏付けられているから、相手は行動へ鼓舞される。会うたびに、新規の企画に挑戦しているのには脱帽する。それを熱く語るSの瞳の輝きは眩しい。僕は、こうしていつもパワーを吹き込まれて、名古屋に帰ってくる。

別れ際に、どちらからともなく、

「俺たちはこの年で、どうしてこうなんだ？」  
とつぶやきながら、ぎこちない握手を交わす。



五台山から見た高知市内方面

## 母校だより

学校長 二十八回生

池上 武雄

いつも全国のトップを切るはずの高知城の桜の開花は、今年は少し遠慮して宇和島や福岡にその席を譲ったようですが、良い季節になってまいりました。東海支部の皆様にはお変わりなくご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度の大学入試結果は、昨年度の名誉挽回を期して臨み、まずまずのうれしいご報告ができますことを、まずはほっとしながらも、卒業生となった生徒のみなさんの健闘に感謝しているところです。

一、私立大の合格数が大幅増加しました。

特に関西私立大は《関関同立》が過去最高またはそれに次ぐ水準を示しました。4校の合計154名(関西33、

関西学院25、同志社30、立命館66」と昨年比72名増となりました。この背景には、国公立大との併願組が、センター試験利用という負担の少ない方法で受験できたことが挙げられ、その分関東方面の出願が少なかったと言えます。ちなみに早慶上智3校の合計63名（早稲田34、慶応21、上智8）と昨年比▼6名となっています。

二、国公立難関の東大・京大・阪大それぞれに、現役を中心にまずまずの健闘です。私の提唱する「東大・京大へそれぞれ二桁の合格」という目標にはあと少し届きませんでした。東大7名（現役4）・京大12名（現役7）・阪大11名（現役7）と近年ではかなりの成果と言えます。また旧七帝大に東工・一橋・神戸を加えたいわゆる「難関十大学」でも、計44名と健闘してくれました。

三、国公立大医学部医学科は、近年の好成績を維持しました。

国公立大医学部医学科は、

今や東大・京大の理系学部がそれ以上の難関とされていますが、今年も25名（現役11と健闘）、特に京大医学部医学科に3名が合格、うち2名は現役で、過去最高の成績でした。なおこの外に防衛医大1名、自治医大1名が出ています。

昨年九月、東京大学総長佐々木毅先生に本校で、『若さと勉強』と題して貴重な講演を賜ったことも、大きな励ましとなったと感謝申しあげている次第です。その意味で今年、京都大学総長尾池和夫先生（34回生）に母校でのご講演をぜひお願いしたいと願っております。

次に校舎の改築につきましては、3月12日、本校で、評議員会・理事会が開催され、校舎の老朽化と来るべき南海大地震対策として早期に全面改築に着手すべきことが承認されました。場所は交通の利便等も考え、塩屋崎の現在地を予定、設計管理には、**(株)**日建設計と、地元**(株)**現代建築計画事務所（代表取

締役・窪田謙作氏46回生）のジョイントが承認されました。

施工についてはどこにお願いするか等は追って健闘することとして未定ですが、設計・施工の期間としては遅くとも5年以内には完工できるものと考えております。

またそれに伴い建築資金の募金活動として、学校同窓会・振興会の三位一体の委員会を組織し、募金の具体策を検討推進することが承認されました。現在委員の推薦を、同窓会・振興会にお願いしているところですが、寄付金控除についても、個人・法人別の準備を進めております。

学校側の校舎改築へ向けての活動は、21世紀を展望する土佐中・高の教育の在り方をコンセプトとしてまとめ、校舎改築に生かすべく、先生方のグループ別の話し合いや、先進校への視察研修等を始めております。そして校内に建築委員会を設置して、設計業者との参加型設計で、先生方の意見、希望を建築にで

きるだけ生かせるよう基本設計を進めていく予定です。

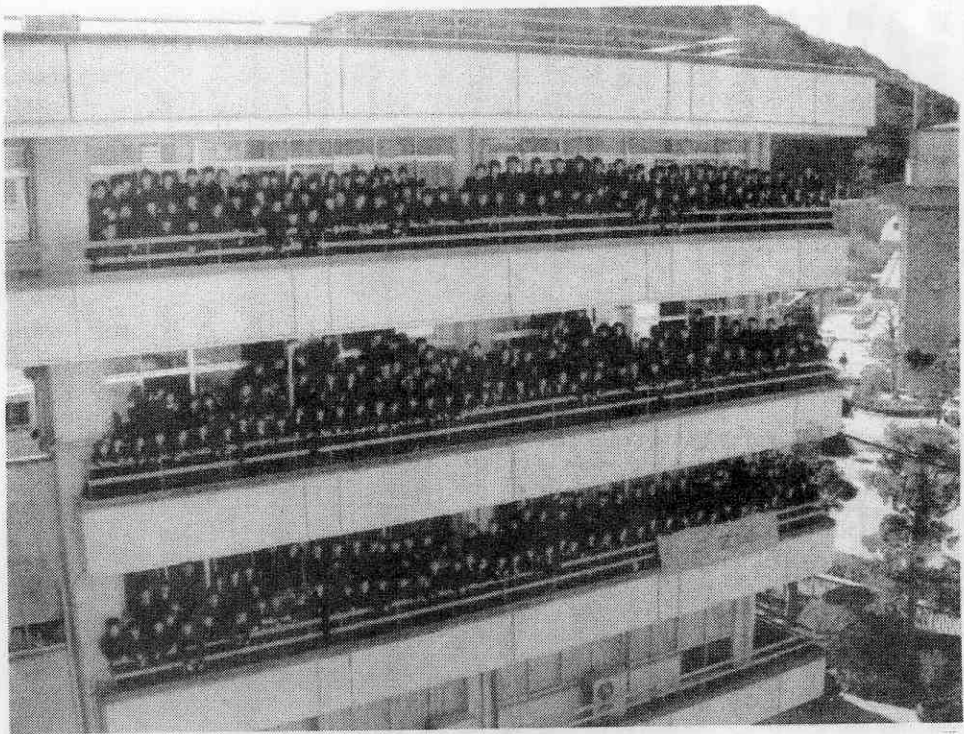
追って校舎改築の概要ならびに建築資金募金計画について、ご報告かたがたお願いを申しあげますので、なにとぞ格段のご協力を賜りますようお願いいたします。

来る4月8日は、土佐中・高の入学式です。中学新入生258名、高校新入生307名（うち他中学からは60名）を迎え、志高く希望に燃えて新年度を頑張つてまいりませう。どうかご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

そして8月14日（土）には、母校での同窓会総会が予定されています。どうかご参加のうえ、母校の現況等ご覧いただければ幸いに存じます。

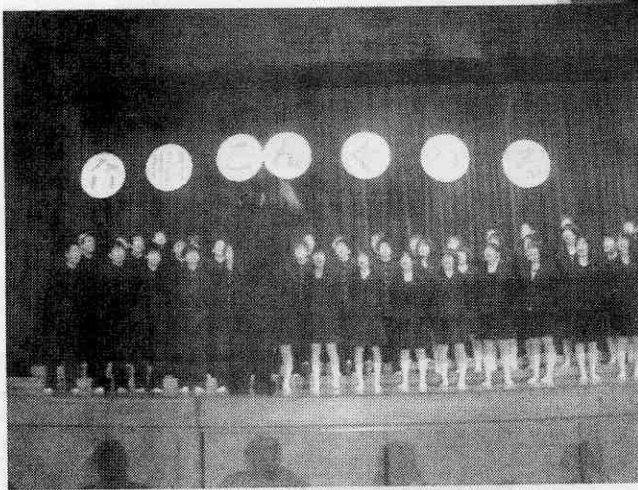
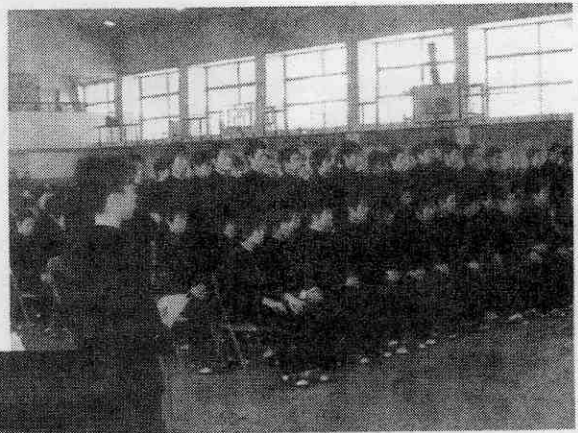
最後に同窓会員の皆様のご健勝とご活躍、東海支部のますますのご発展を祈念申し上げます。ご報告とさせていただきます。

（平成16年弥生）



土佐高卒業おめでとう！

土佐高平成15年度卒業式



土佐高平成15年度合唱こんくうる

## 同窓会あちこち

### 同窓会本部だより

副幹事長 四十九回生

小林 彰

春3月、《ハルウララ》のニュースとともに、土佐路の春は一気に本番を迎えました。同窓会東海支部の皆さまには、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

母校土佐高校では、本年も

1月31日に第79回の卒業式が挙行され、305名が巣立つとともに、私たち同窓会の仲間入りをしました。この卒業式に同窓会代表として出席した安岡幹事長が祝辞を述べました。その中で、尾池和夫さん(35回—京大総長)、浅井和子さん(35回—ガーナ大使)、岡上功さん(50回—F1のマクラ—レンチームの無線通信担当)、杉山雄一さん(51回—医薬界のノーベル賞「米菓学賞」を米人以外で初受賞)、上治堂司さん(48回—馬路村村長として村おこし)、浜田知佐さん(51回—昨年度ソムリエ日本一)らの名前を挙げて、同窓生の幅広い分野での活躍を紹介しました。卒業生たちも、こうした先輩の活躍を励みに、新しい世界へと旅立っていきました。東海地区に進学する生徒もおりますので、何かとご配慮頂ければ幸いです。

さて、すでにご承知かとは存じますが、本年平成16年の同窓会総会は8月14日に母校土佐中・高を会場に開催

されることになりました。経費負担の軽減と同時に、卒業生の皆さんに母校の現状を知って頂く機会として、母校での開催を打診しましたところ、学校から快諾を得、実現の運びとなりました。実は、全体同窓会のこうした動きに先立って、今年卒業30周年を迎える49回生が、母校を会場に模擬授業とクラスマッチを主体とする記念事業を計画しておりました。この計画と全体同窓会との合流を考える中で、母校での同窓会の内容が次第に固まってきました。

具体的なポイントとしては、卒業十周年の区切りを迎える、末尾に(9)のつく回の方には全員(他の回は従来通り高知県内在住の方)にこの同窓会の案内を差し上げ、《ホームカミングデイ》的な催しとすること。新校舎の建築がいよいよ現実化する中で、現在の校舎(51回生以後使用)を見学し記憶に残して頂くこと。懐かしい恩師の先生の授業や交流の催しを企画し、楽

しく盛り上がるものとするなどです。このような会を目指して、本部で準備中ですので、夏のご予定の中に入れていただきたいと思います。本年は母校の進学成績も改善し、新校舎の建築も含めて、新しい活力が生み出されつつあります。同窓会もさらに活力のある組織を目指してまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 関西支部だより

総会に出席

司会して

七十二回生

棚倉 悠平

1月24日(土)、2004年度の関西支部総会、並びに懇親会が京都ホテルオークラにて盛大に開催されました。私は高校を卒業して今年

で8年目になります。母校同窓会の総会、懇親会へは今回初めて出席させて頂きました。

会場は久しぶりの再会を懐かしむ土佐弁があちらこちらで飛び交い、開宴時間の17時を待たずして130名余りの同窓生の熱気でいっぱいになりました。私の実家は大阪にあるため、私が高知で生活していたのは寮生活をしてい

た高校3年間のみです。卒業後、土佐弁に触れる機会は皆無に等しく、久しぶりに聞く土佐弁はどこか新鮮で、部活に勉強？に励んでいた高校時代を懐かしく思い出しました。

また、当日は土佐高校から池上校長先生をはじめ小村先生、福留先生、更に同窓会本部、各支部からも多数のご来賓の方が遠方よりお越しくださいっており、改めて土佐高ネットワークの強さと広大さに驚きました。

歌詞カードを見ずに校歌を歌い切れた事が少し嬉しく、同時に高校時代の思い出の深さを実感しました。

総会の後の懇親会では、応援歌斉唱、学生による『よさこい踊り』の披露、同窓生全員で踊る『よさこい鳴子踊り』など、いろんなアトラクションが目白押しでした。高校時代にお世話になった先生方、8年振りに会う同級生、はじめてお話す諸先輩方、後輩

達ととても楽しい時間を過ごすことができ、総会、懇親会があつという間に終わってしまいました。

来年、2005年度の関西支部総会、懇親会は一月に開催との事です。来年もまた、高校時代を思い出し、同窓生の皆さんと一緒に美味しいお酒を味わえる事を楽しみにしたいと思います。

## 関東支部だより

幹事長 四十五回生

市川 直介

東海支部の皆さん、こんにちは。最近、東海・中京と言えば、日本の中において、とても元気なところとの印象を持ちます。工業生産高はもちろんのこと、『愛・地球博』の開催、中部国際空港の開発とビッグプロジェクトが目白押しです。昨年の東海支部総会に出席したときも、皆さんの活気に押されました。

元気といえば、今年の土佐高の進学実績も、東大・京大・阪大の合計人数が30名を超え、各大学二桁合格達成にも、もう一步と迫っています。南事務局長が願う「高知県で土佐がダントツの一位」になるべく勢いを増してほしいものです。文武両道の土佐高野球部が明德を破って甲子園に出場する願いを早く現実にして欲しいものです。

(全員で「よさこい踊り」)



関西支部総会

さて、関東支部では、平成5年1月31日に学年幹事会を開催し、次期役員の選任（就任は総会での承認後）を行いました。宮地貫一支部長（21回生）が土佐中・高等学校の同窓会会長に就任されたこともあり、新支部長に泉谷良彦氏（29回生）が選任されました。宮地貫一支部長は、なんと17年間も支部長に就任されていたとのこと、関東支部同窓会の発展のため筆舌に尽くしがたい物心両面にわたる貢献をされました。感謝するとともに、今後は、土佐中・高等学校の同窓会全体のため、ひいては学校の発展のため更なる活躍を期待したいと思います。

新支部長に就任される泉谷良彦氏は、大企業の社長を経験した企業人であり、同窓生をはじめ多くの方からの信頼はとても厚い方です。経営・統率能力はもちろんのこと土佐校や同窓会に対する思いも強く、新支部長として最適任者として選出されました。昨年、関東支部総会では、

前防衛庁長官中谷元氏（51回生）が『日本の安全保障について』と題して記念講演を行いました。会場は、ホットな話題を期待してか立見が出るほど盛況でした。高校時代から長官時代までを、エピソードを交えて話され、特に自衛隊の憲章の話については、領土・国を守るという意味を考えさせられました。大懇親会は、今年がよさこい50周年であることから、『よさこい』をテーマに、ガーナでのよさこいの紹介や高知と交流した関東在住の中学生による本格的なよさこい踊り等で大いに盛り上がりました。2004年は、5月30日（日）に代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで京都大学総長の尾池和夫先生に講演を依頼して行います。最後に、関東支部同窓会の運営は、筒井康賢氏（41回生）等東海支部の皆さんに支えられていることに感謝しております。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

## 香川支部だより

たかまつらーめん

五十四回

野村 喜久

東海支部の皆さん、こんにちは。いつも支部活動にご支援をいただきまして誠にありがとうございます。香川支部では、毎年七夕の頃、支部総会ならびに懇親会を（七夕総会）と称して開催しております。昨年は7月5日にJR高松駅前ホテルニューフロンティアで、東海支部の山崎博司会計幹事をはじめ、母校ならびに同窓会本部、他支部から多くの皆様方にご出席いただき、盛大な総会を催すことができました。本当にありがとうございます。今年も7月第一週土曜日（7月3日）に支部総会を計画しておりますので、ふるってご参加下さるようよろしく願います。さて、最近の香川の話題と

## われらわかしゃち



明市沓掛町にある藤田保健衛生大学・衛生学部で、数学を教えています。まだ出来てから半世紀も経たない若い大学です、ご存じない方も多いかと思えますので、まず大学について少し説明させていただきます。

創立者の故藤田啓介氏は医者でありネイチャーにも何本か論文が載った研究者でもありました。出身は愛媛県新居浜市で、旧制高校を高知で過ごし、それ以降亡くなるまで土佐弁を通した方で、土佐の風土と人をこよなく愛しておられました。満面の笑みを浮かべながら沈下橋の思い出をなつかしそうに話されることもありました。そういった意味でも高知と深い関係がある大学だといえるかもしれせん。

土佐高校49回生の皆様こんにちは。愛知県で元気にやっています。住んでいるのは名古屋市ですが、勤め先は豊

### 宝町キッズ

四十九回生

久保 明達

大学のキャンパスは名古屋と豊明市にまたがって、やや離れて桶狭間に学園の本部があります。桶狭間校地にはしばらく専門学校があって大学の講義の合間に教え

に行っていました。沓掛は今川義元が桶狭間で織田信長に敗れる前日に野営した場所でもあります。そのときふと気づいたのは、沓掛の天気と桶狭間の天気が違うことが多いのです。電車一駅程の距離しか離れていないのですが、職員の方に聞くともう少し有松寄りなのところが昔から天候の境目だといわれているとのこと。信長はこれをうまく利用したのでしょか。

去年の暮れには、愛知医大の楠君に誘ってもらい初めて東海支部の忘年会に出席させていただきました。大先輩から後輩の方までお話することができ、大変楽しいひとときを過ごすことが出来ました。その後、帰りを急がれる岡宗先輩をお引き止めし、伊勢にある医院のようすや海産物のことなど楽しくお話いただきました。ありがとうございます。

今年のカキのできがよいとの情報をいただき、最近鍋には必ずカキを入れて楽しんでいきます。また、楠君と

は土佐高で同学年であったばかりでなく、実は少年時代にお互い宝町の30メートルと離れていないところで育ったことがわかり、さっそく手書きの地図を描きながらあそこがああでこうで、と微に入り細に入れば入るほどお互いに記憶の確かさや、風景、店、人、遊んだ川を広場を、昨日のように鮮明に覚えていることが判明しました。本当にご縁があるんだなと思った次第です。

最後になりましたが、お陰様で49回生は今年で卒業後30周年を迎えることとなり、この八月には土佐高校のご厚意により記念の催しを母校で開く予定でございます。土佐高校同窓生の皆様、またこれを機会に今後ともよろしくお願いいたします。



# 示せ高知の底力

五十二回生

清谷 知郎

最近が高知新聞のスポーツ面を読むのが非常に苦痛だ。中学野球・高校野球・相撲にサッカー・卓球そしてゴルフに至るまで勝者はほぼ1校。

正式名称を記すのもシヤクなので通称を書いておこう。原因は《大阪明德》である。野球部を筆頭に、全国いや全世界からスポーツ留学生をかき集めて鍛えまくり、高知の子供たちの夢を奪っている。

私学だからスポーツで名を売って生徒を集める方法は批判されるべきものではないが、モノには限度があると思う。

忘れもしない2年前の夏、大阪明德の野球部は全国制覇。

しかしその時の郷土の反応はきわめて冷ややかなもので、マスコミも、「これだけ地元が白けきる優勝も珍しい」と異口同音に驚いていたものだ。

それはそうだろう。

全部員116名中113名が他府県出身者で占められ、レギュラーはおろかベンチ入り登録選手の中にも、高知県人など一人もいないのだから。

《六期連続甲子園出場》や《六年連続夏の選手権県代表》と騒いでみても、「どうせ地元の子は一人もおらんがじやろ」と野球狂たちもまったく喜ばない。

高知新聞に《県外出身者枠の規制を！》となんども投稿したが、一度も掲載されなかった。

「丸の内でも土佐女子でもどこでもカマン。あの外人部隊をたたきのめしてくれらなう」という県民の悲痛な叫び声を

高知県高野連は、なんと聞く？

だんだんと血圧が上がってきた。

話題を変えよう。

大相撲も40年来のファンだが、品格に疑問符が山ほどつくモンゴル人横綱が圧倒的に強くてちつとも面白くない。

3人の子供達は、

「朝青龍が負けたらトーチヤンはゴキゲンで、美味しいものをごちそうしてくれるもんね」と、横綱の対戦相手の力士を熱烈に応援しているが、先場所は全敗。

スポーツニュースであの顔が映ると反射的にTVを切ってしまうほどだ。

どの学校だっている。地元の子たちがのびのびと活躍してくる姿が見られるのなら。

いまや高知県はスポーツ界に限っては《大阪明德の植民地》と表現せざるを得ない状況だ。

この憂うべき現状に楔を打

ち込むチームはいないものか。

風穴を開けて、快哉を叫ばせてくれる学校はないものか。

もちろんそれが愛する母校なら、こんなに嬉しいことはない。

とにかく今の状態が正常ではないことなどサルでも分かる。

いろんな学校がかわるがわる県代表になって、ファンがワクワクしながら声援を送るような楽しい状況に戻したい。

以前、甲子園球場のアルプス席ではためいていたノボリに《示せ高知の底力》というものがあったが、今まさにそんな気持ちでいっばいである。

《打倒、大阪明德！》を旗印に、県下の各学校が次々に戦いを挑み、《驕るる者久しからず》という展開になることを切に切に希望している。

## 同窓会関東支部と東海支部のホームページと4141CD-ROM

41回生 筒井康賢

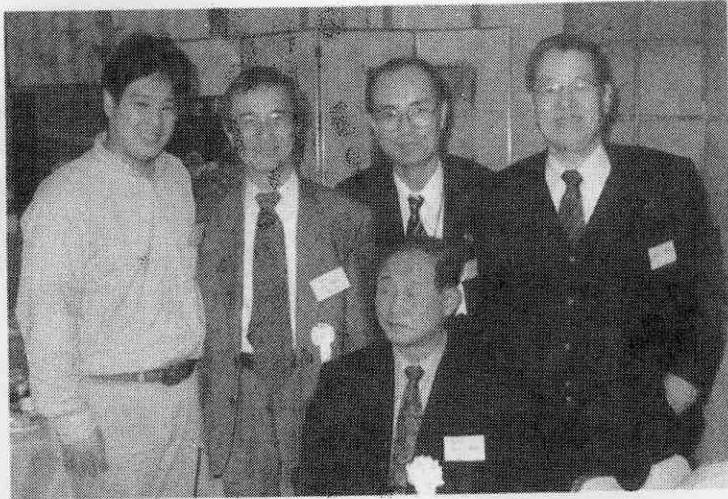
2003年4月1日に茨城県つくば市から名古屋市守山区下志段味にある産業技術総合研究所中部センターに転勤になり、春日井市藤山台に家族とともに引っ越してきました。昨年5月の東海支部総会、12月の冬季懇親会、1月の中部高知県人会（写真）にも出席させていただいています。また、同期の村山文世（同期は呼び捨てにしています）が、64回の瀬沼憲司さんをお願いして作ってもらっていましたが東海支部のホームページを村山とともに引き受け、2003年12月からはホームページ編集人をしていますので是非アクセスしてください。 <http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/>

41回生は1997年2月から4141netと称するメーリングリストを作っており、メンバーもどんどん増えて現在は70人以上になり、毎晩30通ものメールが飛び交っていますが、その仲間が「土佐高にホームページを作ろう」と盛り上がり、ついには1998年2月にPC、プリンター、スキャナーなど一式を土佐高に送り込んで1998年4月に「土佐中・高のホームページ」を半ば強制的に作らせてしまいました。その後、自分でもホームページ記述言語であるHTMLをいじっているうちに、関東支部のホームページを作り始め、ついには東海支部のホームページにまで手を出してしまいました。

関東支部のホームページ<http://www.tosako-kanto.org/>は、1998年の7月、関東支部の事務局長をしていた鶴和千秋（やはり41回）の5MBの無料エリアに作り始め、5MBが窮屈になり20MBまで拡大しましたが、とても足りなくて写真集などはあちらこちらのページを借りて載せていました。それも2002年12月に独自ドメインを取得して、川上司さん（52回）のおかげで新たなサーバに載せ替えて貰って容量の心配はなくなりました。更新履歴の各行の最後に書いてありますのは更新時のアクセスカウンタの数字で、このわかしゃち9号が出る頃には40000を越えているはずで

ところで4141netでは、メーリングリストで飛び交った1年分の写真集を主体に4141CD-ROMと名付けたCD-Rを作成し、2004年1月には第6巻を発行しました。第6巻は動画が入ったこともあり1枚のCD-Rにやっと納まる程度まで容量が増えてしまいましたので、来年からはCD-R2枚セットになるかも知れません。

CD-Rの製作は、春先から編集を始めて集まってくる写真をどんどん貯めておき、おおよその形ができはじめた10月頃からβ版を何度か製作して4141CD-ROM製作集団である4141工房に送ってチェックを繰り返します。4141工房は、今のところ広島、安芸、神戸、和歌山、春日井、国分寺、浦安、八千代にあります。β版の版数が進んだ頃にはCD-Rのラベルの試作版もでき、試作版ラベルを印刷したβ版も配られます。最後には、毎年12月29日に高知で開かれる41回生の忘年会の写真集を組み入れて編集を完成し、CD-Rの原盤とラベルを印刷した生CD-Rを4141工房に配って、冬休み中に分担してCD-Rを焼き、年賀状より少し遅れて全国のメンバーに配っています。みなさんも作ってみませんか。



2004年1月24日の中部高知県人会で  
 後列：左から・瀬沼憲司さん（64回）、南毅一さん（37回）、天造豊彦さん（52回）、筒井康賢さん（41回）、前列・福永康身さん（28回）

| 顧問           | 相談役         | 支部長         | 幹事          | 幹事           | 事務局長        | 会計監査        |
|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 窪田 善一 (19回)  | 松崎 正雄 (28回) | 久保地理介 (33回) | 村山 文世 (41回) | 内田 順子 (35回)  | 小林 愛 (74回)  | 二神 良太 (33回) |
| 水谷 昭 (22回)   | 南 毅一 (37回)  |             | 山崎 博司 (44回) | 森 正博 (38回)   | 神宮美恵子 (44回) |             |
| 福永 康身 (28回)  | 竹原 泰明 (36回) |             | 天造 豊彦 (52回) | 楠 正隆 (49回)   | 新           |             |
| 大高坂 秀雄 (31回) | 下山 貢男 (32回) |             | 瀬沼 憲司 (64回) | 山崎 博司 (44回)  |             |             |
| 新            | 新           |             |             | 森 正博 (38回)   |             |             |
|              |             |             |             | 内田 順子 (35回)  |             |             |
|              |             |             |             | 村山 文世 (41回)  |             |             |
|              |             |             |             | 久保地理介 (33回)  |             |             |
|              |             |             |             | 松崎 正雄 (28回)  |             |             |
|              |             |             |             | 南 毅一 (37回)   |             |             |
|              |             |             |             | 竹原 泰明 (36回)  |             |             |
|              |             |             |             | 下山 貢男 (32回)  |             |             |
|              |             |             |             | 大高坂 秀雄 (31回) |             |             |
|              |             |             |             | 福永 康身 (28回)  |             |             |
|              |             |             |             | 水谷 昭 (22回)   |             |             |
|              |             |             |             | 窪田 善一 (19回)  |             |             |

土佐中・高同窓会  
 東海支部役員  
 (平成16年5月現在)



久保地理介東海支部支部長 (33回)

同窓生の更なる親睦を図るため、定期的に集まろうじゃないかということとなり、下記の通り定例「飲み会」を催すこととなりました。

お気軽にどうぞ土佐弁で一杯やりにいきましょう。

## 記

とき 毎月第二水曜日 午後6時バアーから  
5月12日、6月9日、7月14日、8月11日、9月8日等

ところ 「海舟」(052)242-0361  
地下鉄「上前津」12番出口 北へ3分

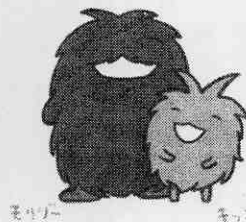


飲代 割り勘で、1人3~4000円あれば充分です。

連絡 上記「海舟」か、「飲み会」奉行の南毅一  
(コスモホーム内 052-332-3370)まで...

以上

編集後記  
9号『わかしやち』お待ちせしました。時代は動くという事で『わかしやち』も体裁変更を考え中ですが、今回は縦書きのままです。ご意見をお寄せください。  
2005年3月から10月まで、愛知県長久手町・瀬戸市などを会場に、『愛・地球博』が開かれます。愛知窮迫にならないことを願っています。応援よろしくおねがいします。  
(内田順子)



21世紀万博、動き出す。

愛地球博

EXPO 2005 AICHI JAPAN